

福島山本 故郷で決意新た

「十勝の環境に感謝」



合同記者会見に臨んだ福島千里(左)と山本幸



【青森】北京五輪日本代表に選ばれた陸上競技女子百斤級の福島千里(20)と北海道旭川市出身の山本幸平(22)が、自伝書『十勝の星』を出版した。山本は「十勝の環境に感謝」と語り、夢の舞台で最大の力を発揮できるように調整を重ねることを誓った。

子供たちにエール

山本「何事もプラス思考」

福島「好きなら夢かなう」

山本は「こんな大きな大会の場に、自分が活躍するのって、思わなかった。会場に入った瞬間、あまりの人の多さに体が震えて胸が高鳴った」と感動。福島は「応援の声を聞いて、J.A.の方々に感謝したい。北京五輪で食べて来た苦労を思い出して、頑張りたい」と笑顔を見せた。



【準決勝・白樺学園一旭川実】白樺学園の宮浦泰史投手は初回、打者3人を打ち取る

夏の高校野球 北海道大会

準決勝 旭実

白樺3回に先制

【旭山】第6日は23日、旭川スタジアム球場で準決勝の2試合を行った。6年連続の準決勝に臨んだ白樺学園は2年ぶりの決勝進出を懸けて午後0時43分、ボールの第2試合で旭川実と対戦。昨年、原野上(三)と西坂村(三)の活躍で、白樺は3回に先制。旭川実も4回に追いついたが、白樺は5回に再び先制。6回に藤井(三)が2点先制。板木(三)が先封で守り切り、1-0で旭川実を下して2年連続の決勝進出を決めた。

駒岩が決勝へ

旭川実(午後1時20分現在) 00000010000010
白樺学園 00000000000010

事前練習で必勝態勢

○休養日の22日、白樺学園は旭川北部高グラウンドで練習し、雨を吹き飛ばすように気合の声を響かせて旭川実戦に備えた。戸出直樹監督は「簡単に点は取れないので、ミスから傷口が広がらないよう落着いていきた」と語った。

白人、準決で惜敗

【富良野】少年軟式野球の白人は、第25回全日本少年軟式野球北海道大会で、旭川実と対戦し、1-0で惜敗した。

男子優勝の石塚美・山本智組(左)

石塚美(富良野) 2-0
山本智(旭川) 0-0

女子優勝の澤田美幸・稲村優子組(左)

澤田美幸(旭川) 2-0
稲村優子(旭川) 0-0

支那選手で調子の上がらなかった打撃も少しづつ上向している。こまごま本塁打を放った中田祐太(3年)は「相手のカウントにきせき、早いカウントで勝負していく」と集中を高めていた。

激しいラリー戦となった男子決勝は石塚美・山本智組(左)が、21の両日、帯広の森テニスコートで行われた。

緩急付け 粘り強く

○男子決勝は長いラリーが続く接戦となったが、石塚美・山本智組(芽室協会)が粘り勝ちし、優勝を手にした。

目標達成に 満面笑顔

○女子は稲村優子・澤田美幸組(音更協会)が、昨年12月の室内選手権に続き、2人は「目標が達成できてよかった」と笑顔を見せた。

石塚・山本組V 女子は稲村・澤田組

【富良野】少年軟式野球の白人は、第25回全日本少年軟式野球北海道大会で、旭川実と対戦し、1-0で惜敗した。また、テニスの第38回全十勝選手権大会で、石塚美・山本智組が男子優勝、澤田美幸・稲村優子組が女子優勝を挙げた。

男子優勝	石塚美・山本智組	2-0
女子優勝	澤田美幸・稲村優子組	2-0
準優勝	旭川実	0-1
3位	帯広市立	0-1
4位	帯広市立	0-1

かちまいスポーツ

記録の速報は kachimai.mobi
写真がほしいは kachimai.co.jp
Eメール sports@kachimai.co.jp
FAX 0155-26-2700

連盟旗野球

25日に順延
23日に予定していた準決勝は雨で延期。グラウンドコンディションの回復を待って、25日に再開する。決勝は26日に行う。